

「古くなった橋や直した橋の見学会」を開催しました

～ 岩手県道路メンテナンス会議 ～

道路環境課

道路インフラの予防保全、老朽化対策の取組みに対する体制強化を図るため、国、県、市町村などの岩手県内の道路管理者が集まり本年5月に設立した「岩手県道路メンテナンス会議」では、一般の方々を対象とした橋梁の老朽化対策に関する現地見学会を10月25日（土）に開催しました。

見学会には、盛岡市を始め、花巻市や岩泉町から男性、女性、親子連れ、大学生など合計18名の方々が参加し、老朽化により補修が必要となっている橋梁の現状と、補修後の橋梁を見学しました。

1. 古くなった橋の現場（盛岡市道：浅岸橋）

中津川に架かる盛岡市道の浅岸橋では、橋の劣化状況を確認してもらうために、参加者にハンマーを使った打音による橋梁点検を体験してもらいました。



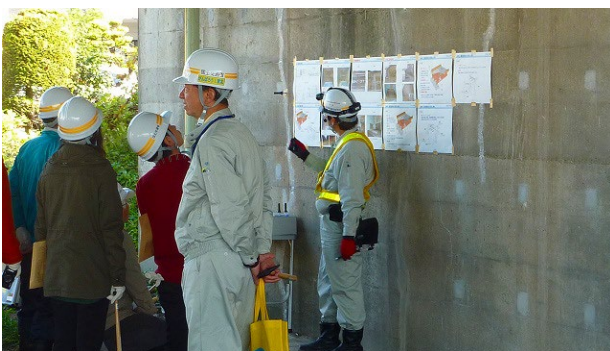
「コンコン、ポコポコ」音の違い解るかな？



専門家から点検方法の説明を受ける参加者

2. 直した橋の現場（国道4号：北山跨線橋）

補修工事が完了した国道4号の北山跨線橋では、国土交通省の担当者から補修の方法などについて説明を受けました。



～参加者の方からは、以下のような意見をいただきました。～

- ・なかなか見ることができないところを見せてもらえて、ためになった。
- ・見学会等によりインフラの現状を周知することは重要だと思う。
- ・古い橋の事例と補修における対比が解りやすかった。

★今後も、このような見学会などを通じて、道路インフラの現状と補修工事などへの理解を深めてもらいながら、道路施設の適切な維持管理に努めてまいります。